

JIS

製品の幾何特性仕様（GPS）－基本原則－ GPS 指示に関わる概念，原則及び規則

JIS B 0024 : 2019

(JSA)

平成 31 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金丸 淳子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	榎 徹雄	東京都市大学
	三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 63.9.1 改正：平成 31.2.20

官 報 公 示：平成 31.2.20

原 案 作 成 者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 図示仕様を理解するための基本的な前提条件	2
4.1 一般	2
4.2 機能上の許容限界	2
4.3 公差の許容限界	3
4.4 部品の機能レベル	3
5 基本的な原則	3
5.1 適用の原則	3
5.2 GPS 規格の階層構造の原則	3
5.3 明確な図示の原則	4
5.4 形体の原則	4
5.5 独立の原則	4
5.6 小数の原則	4
5.7 標準の原則	4
5.8 基準状態の原則	5
5.9 部品の剛体性の原則	5
5.10 二重性の原則	5
5.11 機能管理の原則	6
5.12 基本仕様の原則	6
5.13 責任の原則	6
6 標準的な指定処理要素の指示規則	6
6.1 一般	6
6.2 一般的な ISO 標準 GPS 仕様	6
6.3 代替標準 GPS 仕様	7
7 特別な指定処理要素の指示規則	8
7.1 一般	8
7.2 ISO 基本仕様に追加された補足的情報（要求）	8
8 括弧内記述の規則	9
附属書 A（参考）GPS マトリックスモデル	10
参考文献	12
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表	14
解 説	15

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS B 0024:1988** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

製品の幾何特性仕様（GPS）—基本原則— GPS 指示に関わる概念，原則及び規則

Geometrical product specifications (GPS)—Fundamentals— Concepts, principles and rules

序文

この規格は、2011年に第2版として発行された **ISO 8015** を基に、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

この規格と GPS マトリックスモデル及び他の GPS 規格との詳細な関係を、**附属書 A** に示す。

1 適用範囲

この規格は、寸法、幾何公差及びそれらの検証に関係する全ての国際規格、標準仕様書 (TS) 及び標準報告書 (TR) の作成並びに日本工業規格の作成、その解釈及び適用に有効な基本的な概念、原則及び規則を規定する。

この規格は、全ての種類の図面での GPS 指示の解釈に適用する。

この規格における用語“図面”は、可能な限り広い意味において、部品を規定する文書群全体を網羅的に含んでいると解釈する。

注記 1 対応国際規格では、“公差表示方式 **ISO 8015**”という記述を表題欄の中又は近くに指示しなくとも、ISO GPS システムを適用するものとしている。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 8015:2011, Geometrical product specifications (GPS)—Fundamentals—Concepts, principles and rules (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。

ISO 17450-1:2011, Geometrical product specifications (GPS)—General concepts—Part 1: Model for geometrical specification and verification

ISO 17450-2:2012, Geometrical product specifications (GPS)—General concepts—Part 2: Basic tenets, specifications, operators, uncertainties and ambiguities